

編集デスク

東京女子医大でおこなわれた心臓手術に、特殊な血液型の患者であつたため、その手術必要量の特殊な血液を集めるためにジャーナリズムが活躍した。その効果は大きく、困難な手術を完了させるだけの特殊な血液が集められ、手術は完了した。ジャーナリズムは、この挙が人命を助けるという大切なことがらにつながることであるから、積極的に協力体制をしき全国に広く呼びかけ特殊な血液型を持つ人の血液供出を提案し、見事にそれを果たしたのである。一種のプレスキャンペーンである。

ところで、人命を助けるということは、最も大きな関心事であるからジャーナリズムは積極的にこのような挙に出た。その対象になつたのは2人の人間である。ジャーナリズムがこれを、あのような形でとりあげたのは、そのことが単なるニュースとして興味があるというだけではなく、そのことが人命を助けることになるという正義観につながっていた

からである。それをどのようにとりあげるかは、単なる他からの要請ではなく、ジャーナリズムの枢機を握る首脳部が、自主的にとりあげたものであろう。みずからの意志によって、それを決定し、その意志に従つて行動したものであろう。

ところで、ことは2人の人命を助けるということであつたが、世の中には、それと同様、またはそれ以上に社会正義の上からとりあげなければ

(プレスキャンペーン) というもの

—— 長谷川 泉 ——

ばならないことがあるであろう。たまたまあの時点においては、2人の生命を助ける可能性につながった劇的なことがらに積極的に筆がさかれたものであるが、それだけのスペースがほかにとりあげるべきもつと深刻なことがらにさかれることによって、ただに2人の生命にかかること以上にもつと大きな社会正義につながることもらに関連したかもしれない

いのである。

とりあげる意志を決定するのは、他からの要請ではなく、主体的なジャーナリズムの意志である。その意志に、とりあげるべき主体的なモチーフをかきたてたものがあつたから、とりあげることになつたのである。ゆえに、ジャーナリズムの枢機を握るものは、どのような価値判断において何をいかなる形においてとりあげるかということを決定する場合に、安易にそのことを決めてはならないのである。プレスキャンペーンには色彩がつく。すなわち、とりあげる者の価値判断とその主体性である。そこに単なるニュースの報道でなく、プレスキャンペーンの心すべき点がある。ジャーナリズムが公器の性格を持つだけに、その影響力は強く、その色彩づけは重要な契機をなす。

私たちは、そのような観点で、ジャーナリズムに接しなければならぬそれと同時にジャーナリズムに関係する者には、そのような自覚を要請したいのである。

十二分に知っているが、両立に対する、自分の最も大切な仕事をどうするか、もっと真剣に考える必要があるのではなからうか。三つには生活のためだけの職業感、すなわち自分の技術を売る？ 商売に近いガメツイ心構えも今の時勢には必要かも知れないが、はき違えて取りまへのことのみ、又時間外に働いた報酬は絶対にかくとくしなければとの意気ごみもよいが……今一度私共がうる報酬の対象が何であるかを、心に止めてみたい。奉仕しなさいというのではないが、与えることの喜びも味わってみたい。十分に誠意をもって与えて、そして受けることができるのではないか。しかも私共が与える、みとりの手と心は、傷ついたある意味での世の中の廃者であるかも知れない人々に生きる力を与え、傷がいやされると思うと、このよろこびの報酬は天に積む宝にひとしい。

若い学院の生徒、卒業生したての方よりはるかに大先輩である私は、病院生活に半生を過したとはいえ最初書いたようにどちらかというと、永

い伝統に守られてよい時代に青春(?)を過したので、現在の荒波をのり切れるような新しい知識も家庭人としての幸福も味わないが、看護の職業に守られこの仕事を愛してきたことが、今日まで順調に來られたと信じている。看護学院当時に受けた教えが自分の仕事を大切にするように、知らず知らずに植え付けられていたのだと思う。

以上を、教育の立場にあられる学院の先生と共に考えていただき、この道に選ばれ選んで入学してくる若い人々を、一人でも多くよろこびで自分のお仕事に誠実中正であるような、よい職業人に育てていただきたいと切に願っている。高いところに目標をおいて、世の人々からよろこばれ敬われたとされる看護をするには、やはり、まだまだきびしい規律と試練を積みなければほんとうにむずかしいということを、年と共に強く感じる。学院と病院との密接な教育的な関係は、よい病院管理、看護管理なくしては考えられない。

(都立大久保病院総婦長)